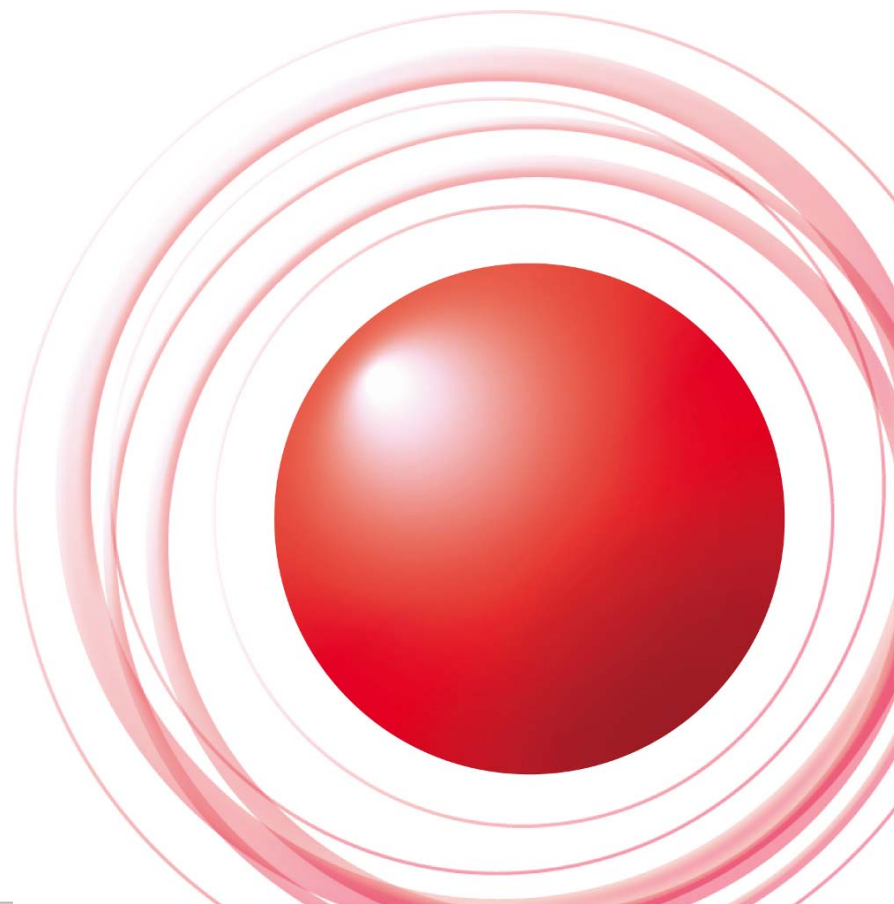


2010年3月期 第1四半期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード:3774）
2009年8月11日

Ongoing Innovation



アジェンダ

I. 2010年3月期 第1四半期 総括

II. 2010年3月期 第1四半期連結業績

III. ご参考資料

I. 2010年3月期 第1四半期総括

《2010年3月期 第1四半期実績》

・営業収益(売上高)	15,835百万円	(前年同期比	3.0% 減)
・営業利益	351百万円	(前年同期比	14.7% 減)
・税引前利益	300百万円	(前年同期比	3.1% 減)
・当社株主に帰属する四半期純利益	180百万円	(前年同期比	6.7% 増)

● ネットワークサービス及びSI事業(※)は前年同期比21.9%営業増益

- 当該事業営業利益 : 1Q09 584百万円、1Q08 479百万円
- SI構築売上減であったが、ストック売上継続伸張・コストコントロールによる粗利増加により、増益基調進展
- 1Q09の利益水準は会社想定を上回り推移

※ ネットワークサービス及びSI事業: ATM運営事業を除くインターネット接続及びアウトソーシングサービス、SI、機器売上により構成される事業。

● ストック売上は前年同期比6.4%増、SI構築売上は前年同期比40.6%減(ほぼ想定通り)

- 企業のインターネット利用拡大に伴い契約総帯域が継続的に拡大、Gbps超の契約数増加
- モバイルデータ通信サービス受注回線数は28,000回線超に増加

● ATM運営事業は継続立ち上げ中

- 1Q09より関西地区一部でのATM導入を開始、1Q09末現在で26台のATMを設置済み

● 中小企業向け新ブランド「LaIT」立ち上げ(2009年7月～)

- LaITレンタルサーバ、LaITプライベートイーササービスを開始、3年で20,000契約・10億円規模の売上を展望

● 技術研究所を(株)IIJイノベーションインスティテュートへ移管、R&D体制強化

(2009年7月)

Ⅱ-1. 2010年3月期 第1四半期連結実績サマリー

単位: 億円

	売上比 1Q09 (09/04~09/06)	売上比 1Q08 (08/04~08/06)	前年同 四半期比
営業収益 (売上高)	158.3	163.3	△ 3.0%
売上原価	81.1% 128.4	81.5% 133.0	△ 3.5%
売上総利益	18.9% 30.0	18.5% 30.3	△ 0.9%
販売管理費等	16.7% 26.5	16.0% 26.1	1.3%
営業利益	2.2% 3.5	2.5% 4.1	△ 14.7%
税引前四半期純利益	1.9% 3.0	1.9% 3.1	△ 3.1%
当社株主に帰属する 四半期純利益	1.1% 1.8	1.0% 1.7	6.7%

▶ ほぼ想定どおりの着地
▶ ストック売上は前年同期比増加したが、景気影響によりSI構築売上が減少

▶ コストコントロール継続実施
▶ ATM運営事業売上原価 1Q09 : 192百万円、1Q08 : 15百万円

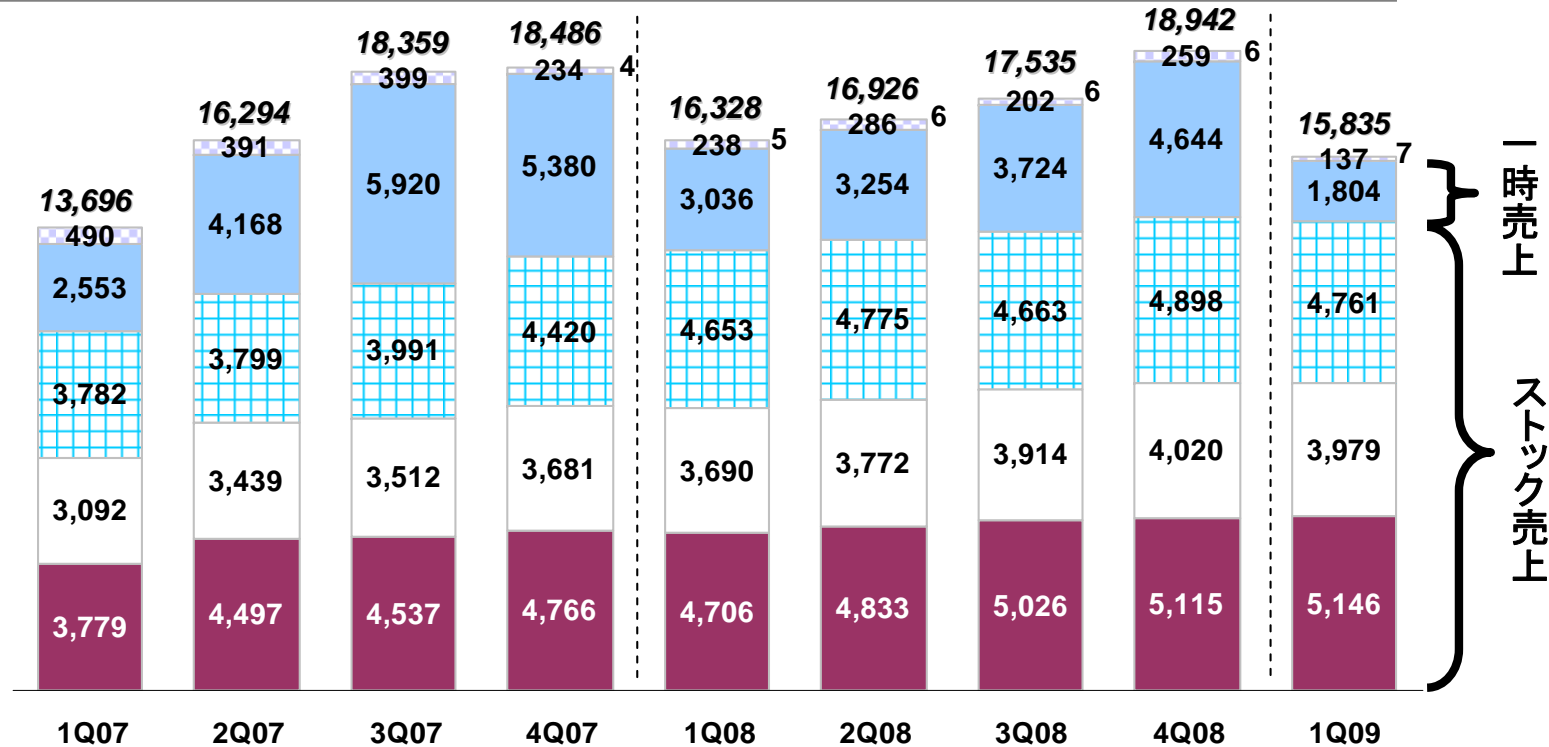
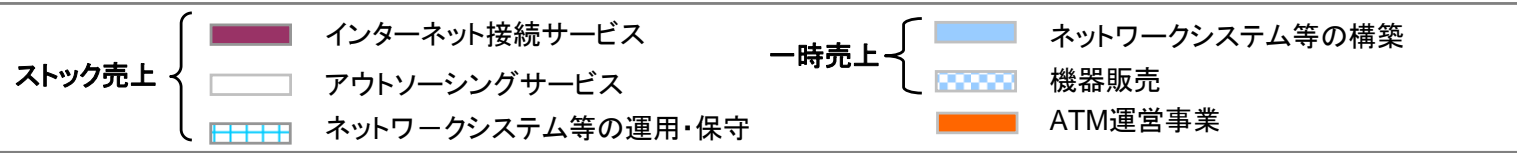
▶ 期初は人件関連費用等が増加する傾向にあるが、コストコントロールにより共通費用は全般的に抑制

▶ ネットワークサービス及びSI事業の営業利益は前年同期比伸張
▶ ATM運営事業営業損失 1Q09 : 233百万円、1Q08 : 67百万円

▶ 非支配持分に帰属する四半期純損失: 1Q09 : 93百万円、1Q08 : 55百万円

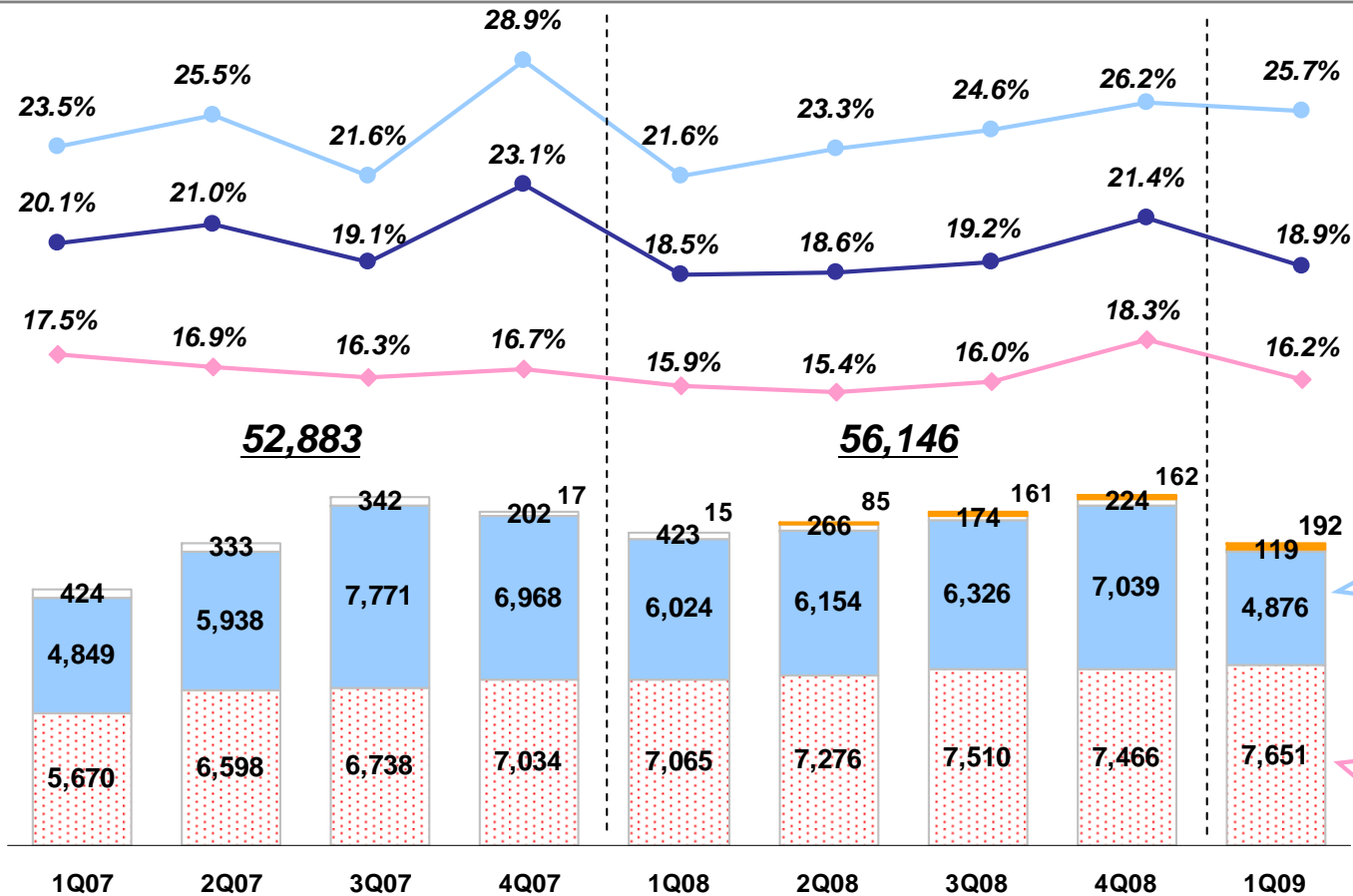
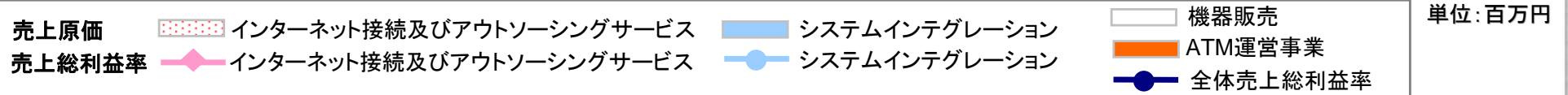
Ⅱ-2. 営業収益(売上高)の推移

単位:百万円



- ◆ ストック売上は 13,887百万円 (1Q08比 6.4%増、4Q08比 1.0%減)
 - インターネット接続サービス : 1Q08比9.4%増、4Q08比0.6%増
 - アウトソーシングサービス : 1Q08比7.8%増、4Q08比1.0%減
 - SI運用保守 : 1Q08比2.3%増、4Q08比2.8%減
- ◆ 一時売上は1,940百万円 (1Q08比 40.7%減、4Q08比 60.4%減)
 - SI構築 : 1Q08比40.6%減、4Q08比61.2%減
- ◆ ATM運営事業 : 7百万円 (1Q08比 54.3%増、4Q08比 20.6%増)

II-3. 売上原価・売上総利益率の推移



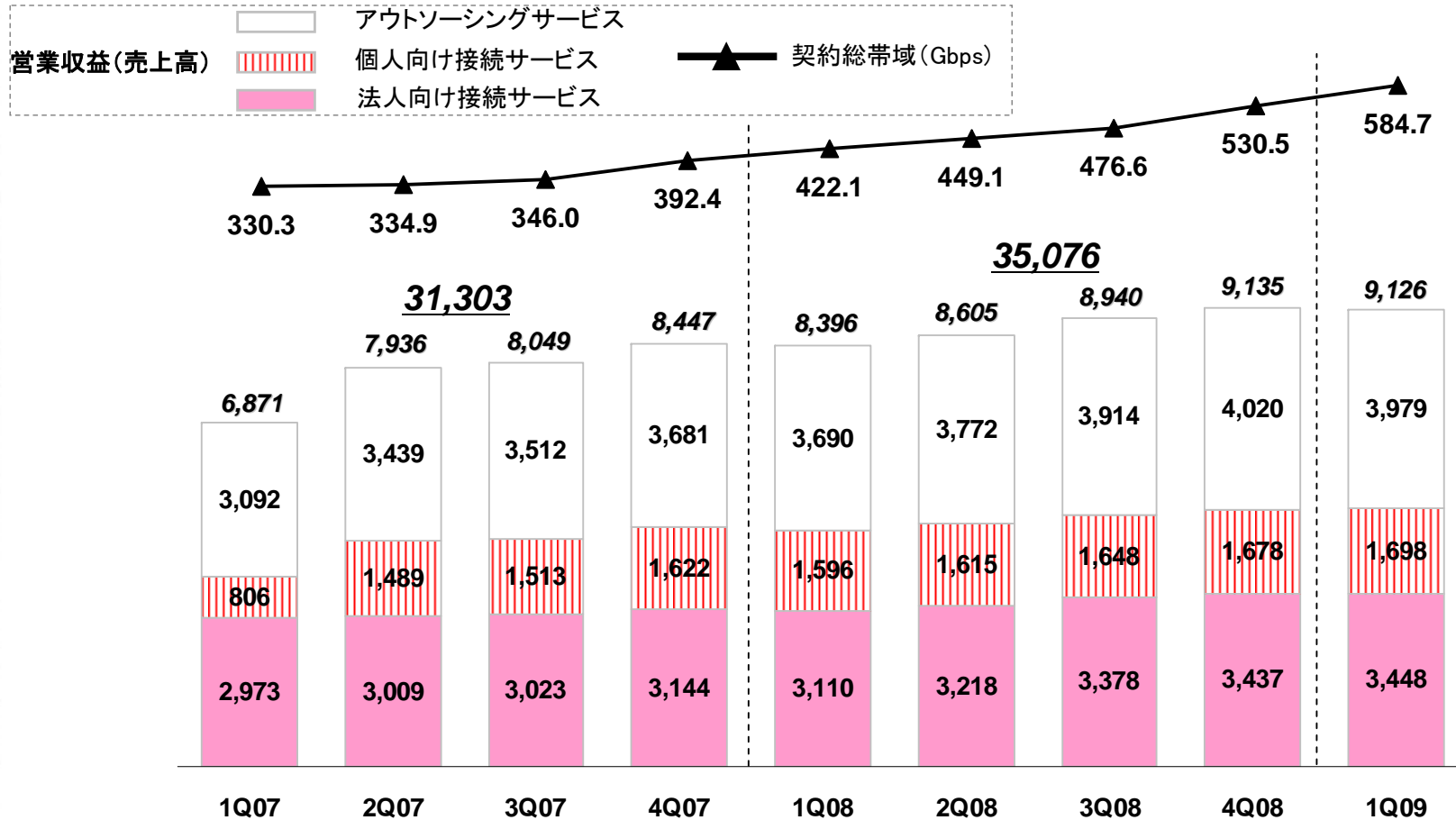
システムインテグレーション原価
 仕入、外注関連、設備関連、
 人件関連費用 等

**インターネット接続及び
 アウトソーシングサービス原価**
 バックボーン等回線関連、
 ネットワーク等設備関連、
 外注関連、人件関連費用 等

- ◆ **インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価** : 1Q08比8.3%増、4Q08比2.5%増
 売上総利益率は、1Q08比0.3ポイント増、4Q08比2.1ポイント減
- ◆ **システムインテグレーション原価** : 1Q08比19.1%減、4Q08比30.7%減
 売上総利益率は、1Q08比4.1ポイント増、4Q08比0.5ポイント減
- ◆ **ATM運営事業原価** : 1Q08比 177百万円増、4Q08比30百万円増 (18.6%増)

Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス ① 売上の推移

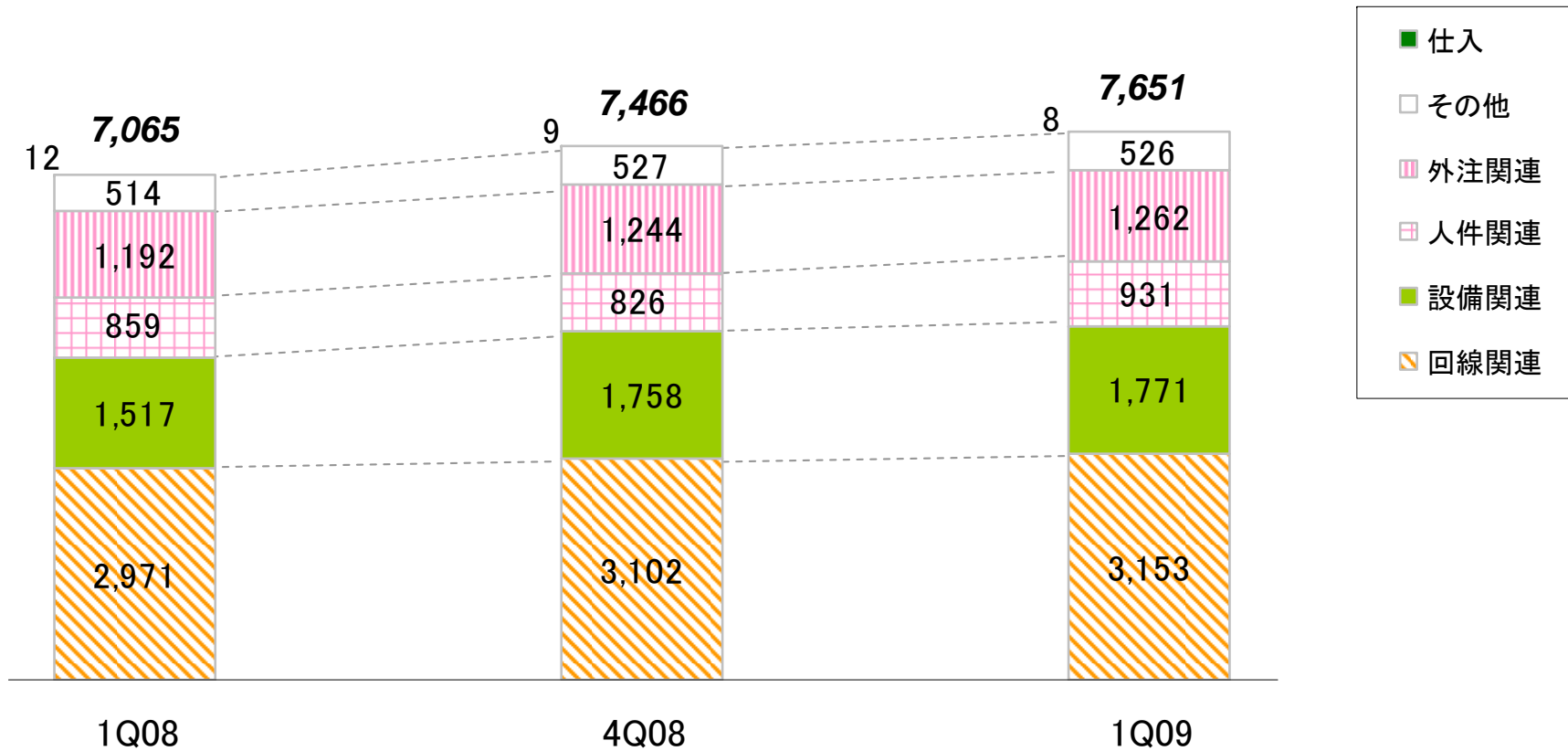
単位:百万円



- ◆ 法人向け接続サービス：1Q08比10.9%増、4Q08比0.3%増
 - Gbps超の契約は102件、1Q08比+30件と順調増加、契約総帯域は継続拡大、売上高の伸びは期初の一部契約見直し影響により一時鈍化
- ◆ 個人向け接続サービス：1Q08比6.4%増、4Q08比1.2%増
 - ADSL回線等から光回線への契約移行に伴う売上単価増、個人向けモバイルデータ通信サービス売上が今後増加
- ✓ モバイルデータ通信サービス：受注回線数は28,000回線超(4Q08発表時より+約5,000回線)、法人向け・個人向け共に順調に契約増加
- ◆ アウトソーシングサービス：1Q08比7.8%増、4Q08比1.0%減
 - 4Q08にあった個別売上との差分、期初の一部契約見直し影響によりFY08時同様4Q08比若干の減収

Ⅱ-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス ② 原価の推移

単位:百万円

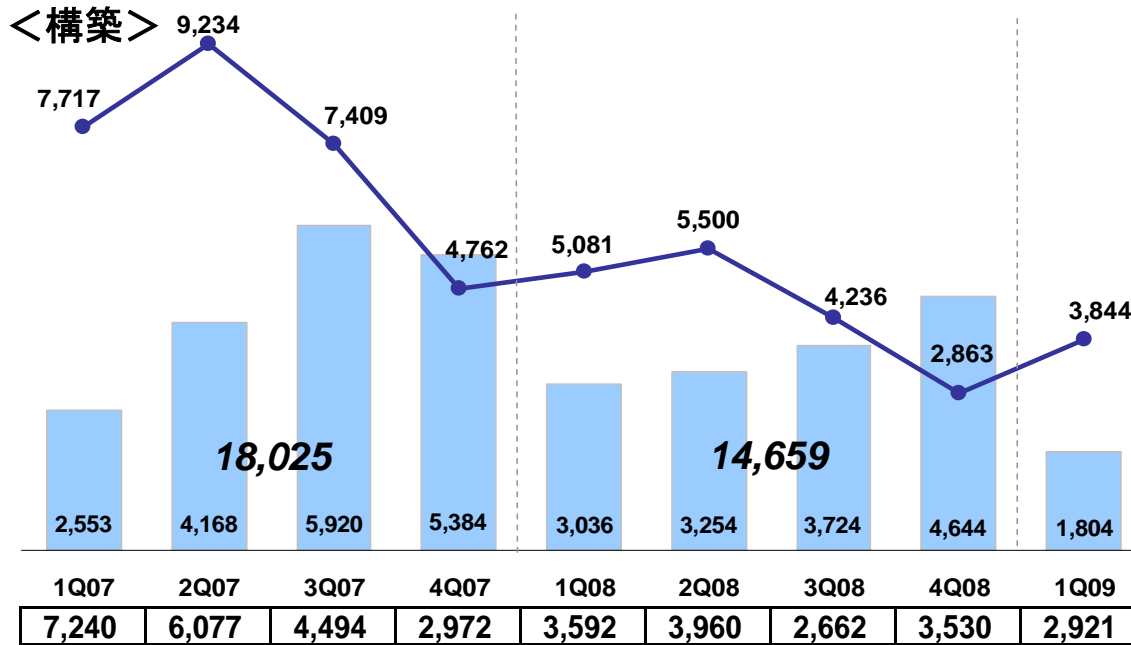


◆ 原価総額：1Q08比 8.3%増、4Q08比 2.5%増

- 4Q08比 人件関連費用は、新卒新入社員等の人員増により増加
- 4Q08比 回線関連費用は、モバイルデータ通信サービスに係る外部接続料、回線費用等により増加
バックボーンコストは919百万円、1Q08比2.6%増、4Q08比0.3%増

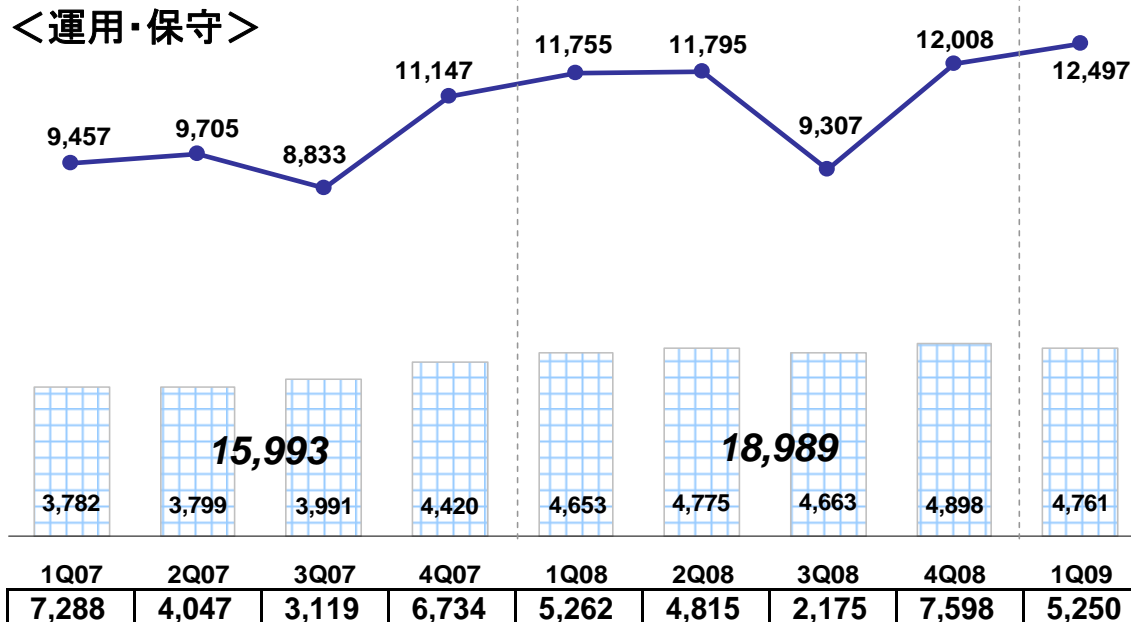
Ⅱ-5. システムインテグレーション ① 売上・受注等の推移

単位:百万円



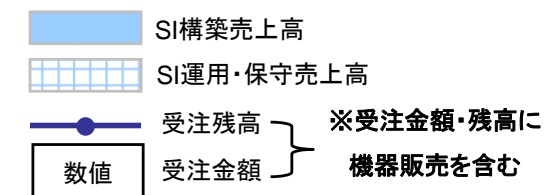
構築の状況

- ◆ 売上 1Q08比40.6%減、4Q08比61.2%減
- ◆ 受注残高
1Q08末比 24.3%減・1,236百万円減
4Q08末比 34.3%増・981百万円増
- 景気悪化前の1Q08比売上大幅減
- FY08下期に引き続き設備投資意欲は厳しい状況、3Q08対比若干緩和の印象
- 大型のアプリケーション開発案件はなく、ネットワーク構築案件受注が中心
- 一時構築よりも継続役務提供の形態での発注ニーズが高まりつつある
- 1Qは検収タイミング等により例年売上規模が小さい傾向



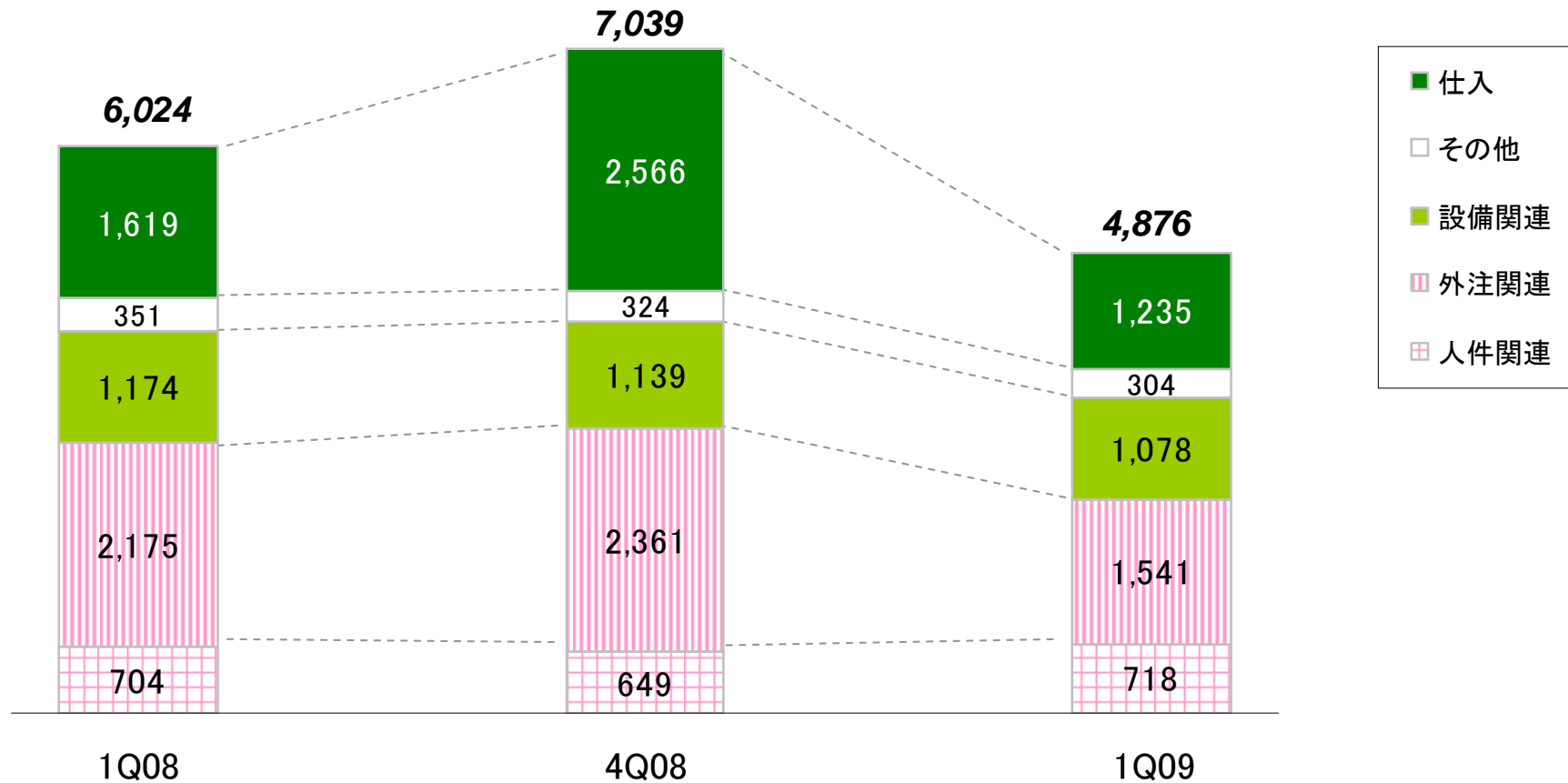
運用・保守の状況

- ◆ 売上 1Q08比 2.3%増、4Q08比 2.8%減
- ◆ 受注残高
1Q08末比6.3%増・741百万円増、
4Q08末比4.1%増・489百万円増
- FY08からの継続案件中心に受注残積み上げ
- 4Q08にあった個別売上(運用解約売上)からの反動減、期初の契約更新タイミングの影響により4Q08比売上減少



II -5. システムインテグレーション ② 原価の推移

単位:百万円



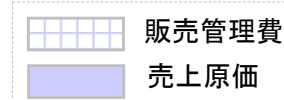
◆ 原価総額：1Q08比19.1%減、4Q08比 30.7%減

- 4Q08比 仕入は、SI構築売上減に伴い大幅減
- 4Q08比 外注関連費用は、SI構築売上減、コストコントロールにより減少
常駐外注人員数は222名、1Q08比130名減、4Q08比32名減
- 4Q08比 人件関連費用は、新卒新入社員等の人員増により増加

II-6. ATM運営事業 費用・損失の推移

単位:百万円

(営業費用の推移)



(株)トラストネットワークス

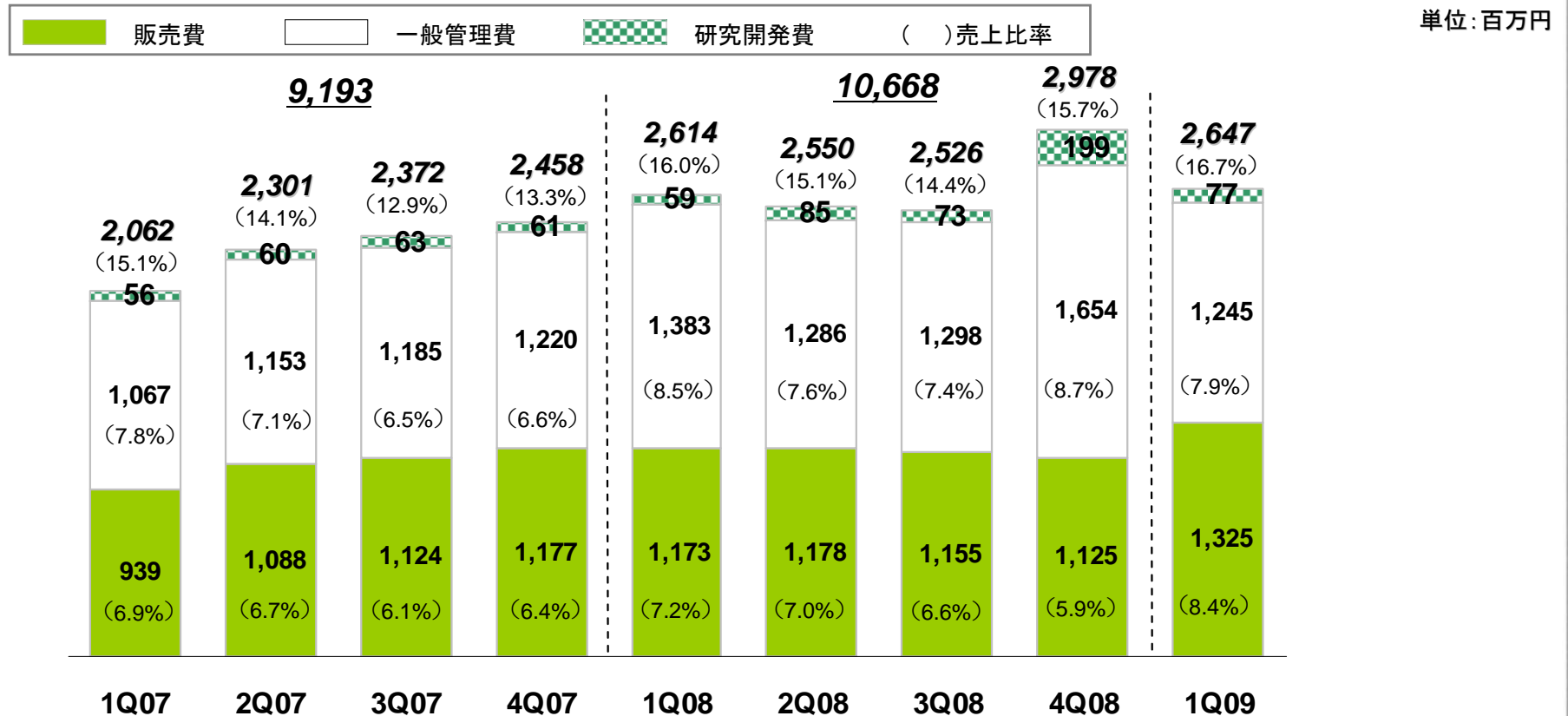
- 2007年7月設立 連結子会社
出資比率 72.3% (2009年7月末現在)
- 遊技業界向けに銀行ATMを順次導入
- ATM利用毎に生じる手数料収入モデル
- ATM機器はリースにて調達

(営業損失の推移)

- ◆ FY08はATM 10台にて試行運営を実施
- ◆ 1Q09末現在 計26台のATMを設置済み、順次導入中
 - 1Q09より関西地区一部で大型店より導入を開始、関東地区導入開始は第3四半期予定
 - 引き出し件数は順調に推移、導入後認知が高まるにつれ増加する傾向
- ◆ 今後4~5年程度で約8,000台の導入を展望

(注) 当該事業の説明につきましては、2009年3月期まで(株)トラストネットワークス単体数字を使用しておりましたが、当2010年3月期よりセグメント別開示に伴い前期実績数字を含め連結セグメント間調整後の数字を使用しております。

Ⅱ-7. 販売管理費・研究開発費の推移



◆ 販売管理費：1Q08比0.6%増、4Q08比7.5%減

➢ 販売費：1Q08比13.0%増、4Q08比17.8%増

4Q08比、のれん(顧客関係)除却費等(119百万円)及び人件関連費用増加

➢ 管理費：1Q08比9.9%減、4Q08比24.7%減

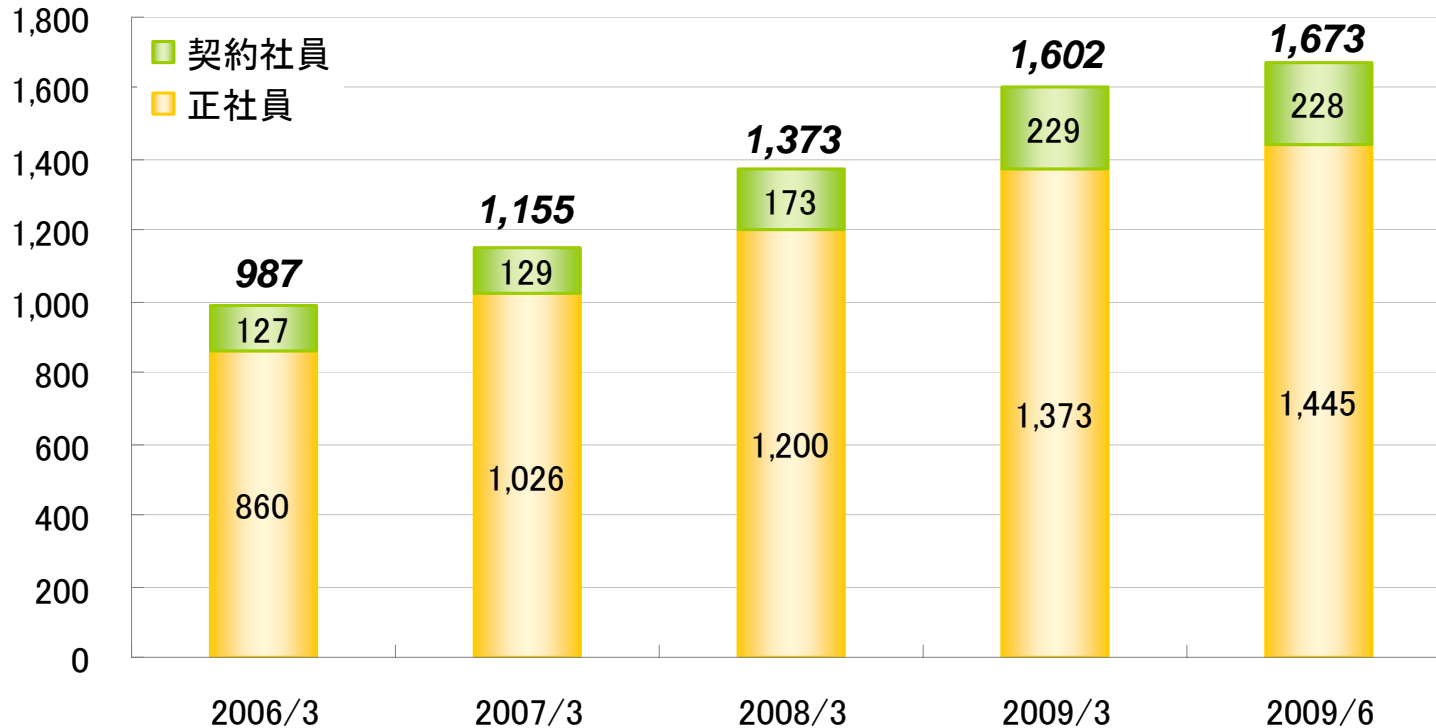
4Q08比、4Q08の営業資産除却費用計上(424百万円)からの反動減、外注関連費用・その他共通費用等の全般的抑制による減少

➢ ATM運営事業に係る販売管理費は49百万円

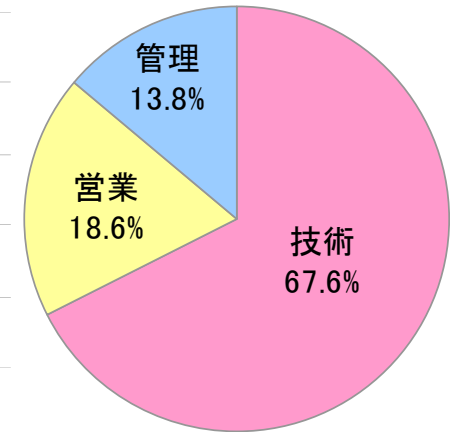
◆ 研究開発費：1Q08比31.0%増、4Q08比61.5%減

Ⅱ-8. 連結従業員数の推移

(人)



<分野別人員構成>



四半期人件関連
費用総額
(売上高比率)

2,439 (12.9%)	2,771 (17.5%)
------------------	------------------

単位: 百万円

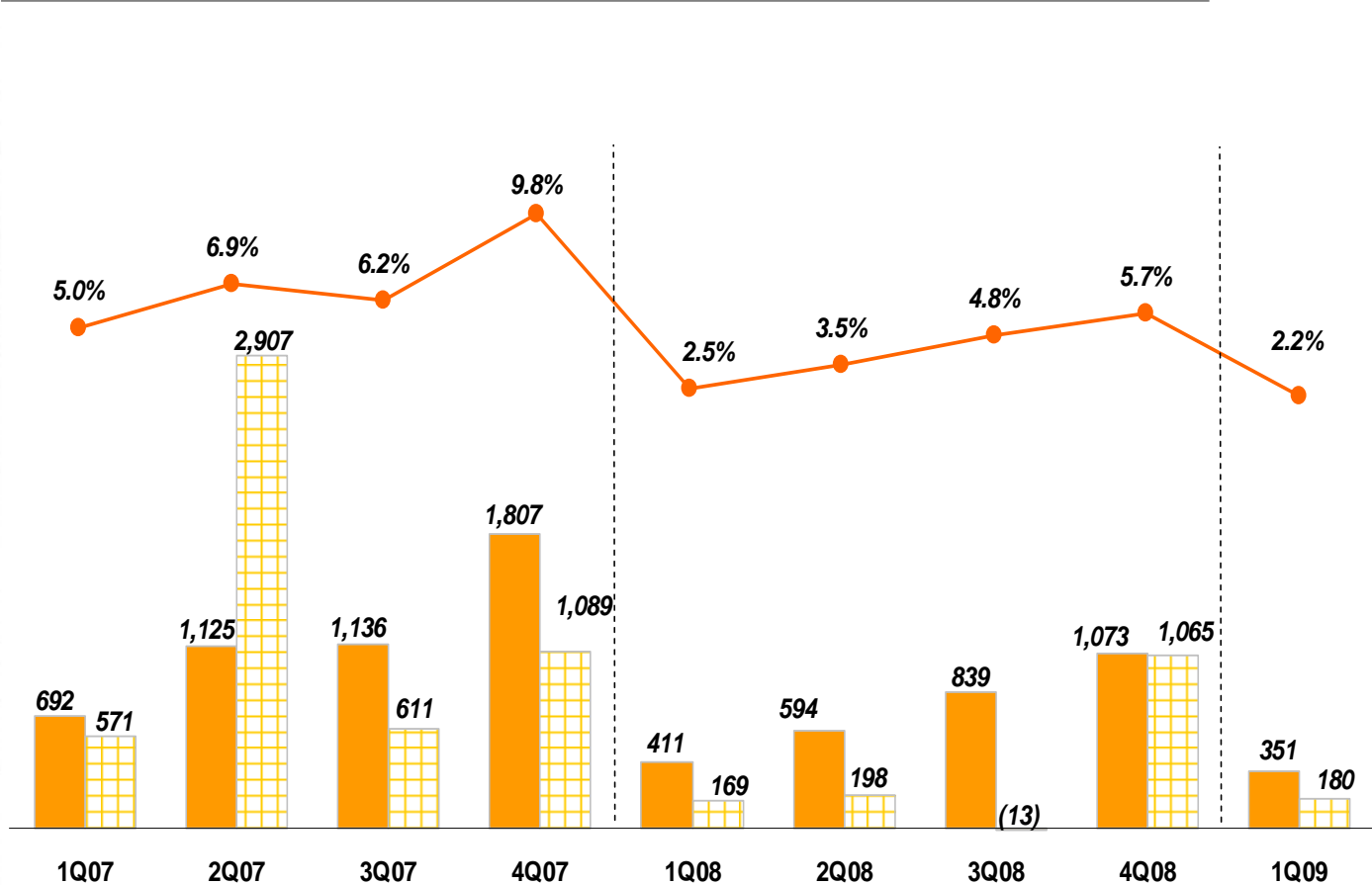
◆ 連結従業員数 4Q08末比 71名増

- 09年4月入社新卒新入社員数 77名 (08年4月実績: 92名)
- 1Q09末トラストネットワークスの従業員数9名(うち4名はグループ内出向)
- FY09にて中途社員は大幅増加しない計画

◆ 人件関連費用 1Q08比 6.6%増、172百万円増、4Q08比 13.6%増、333百万円増

Ⅱ-9. 営業利益・当期純利益の推移

営業利益
 当社株主に帰属する四半期純利益
 営業利益率
 単位: 百万円

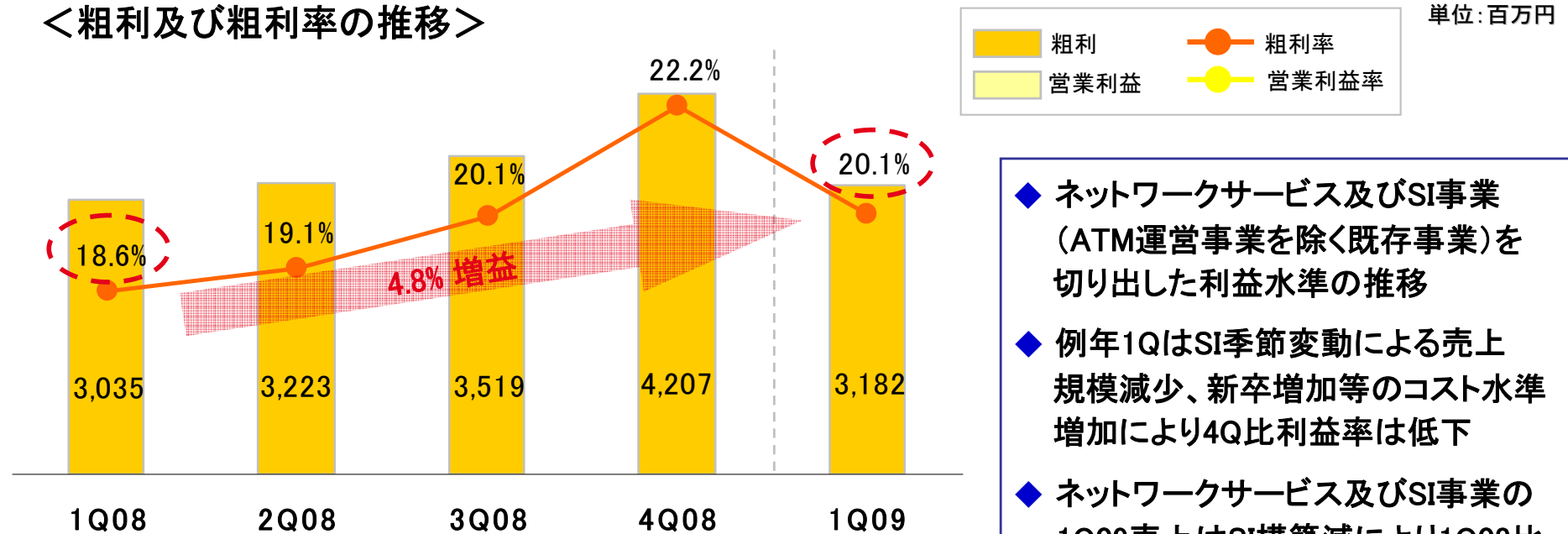


- ◆ **営業利益:**
 - 1Q08比 14.7%減、4Q08比67.3%減
 - 1Q08比にて、ネットワークサービス及びSI事業の粗利は増加、ATM運営事業に係る営業損失増加及び販売費・研究開発費若干増により減益
- ◆ **当社株主に帰属する四半期純利益:**
 - 1Q08比6.7%増、4Q08比83.1%減
 - 税効果会計による法人税等調整額: 1Q09 186百万円(損)、1Q08 127百万円(損)、4Q08 335百万円(益)
 - 持分法による投資損益: 1Q09 32百万円(益)と1Q08比若干増
 - 非支配持分に帰属する四半期純損失:
 - GDX Japan及びトラストネットワークスに係る損失により、1Q09 93百万円(損)と1Q08比増加

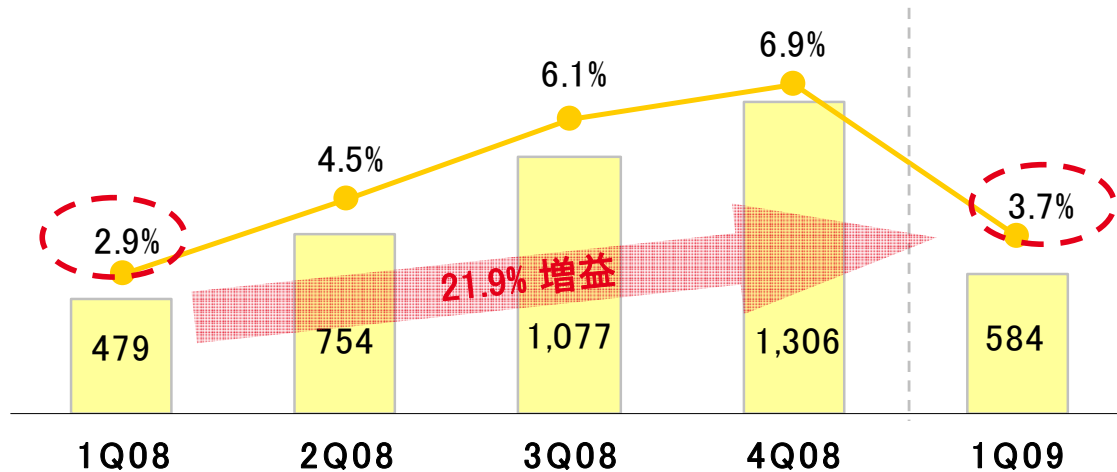
	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09
法人税等	175	▲1,980	392	552	213	326	653	▲190	244
持分法損益	▲20	▲29	▲42	▲52	18	▲17	44	▲10	32
非支配持分に帰属する四半期純損失	9	15	27	45	55	85	120	93	93

Ⅱ-10. ネットワークサービス及びSI事業の利益推移

<粗利及び粗利率の推移>



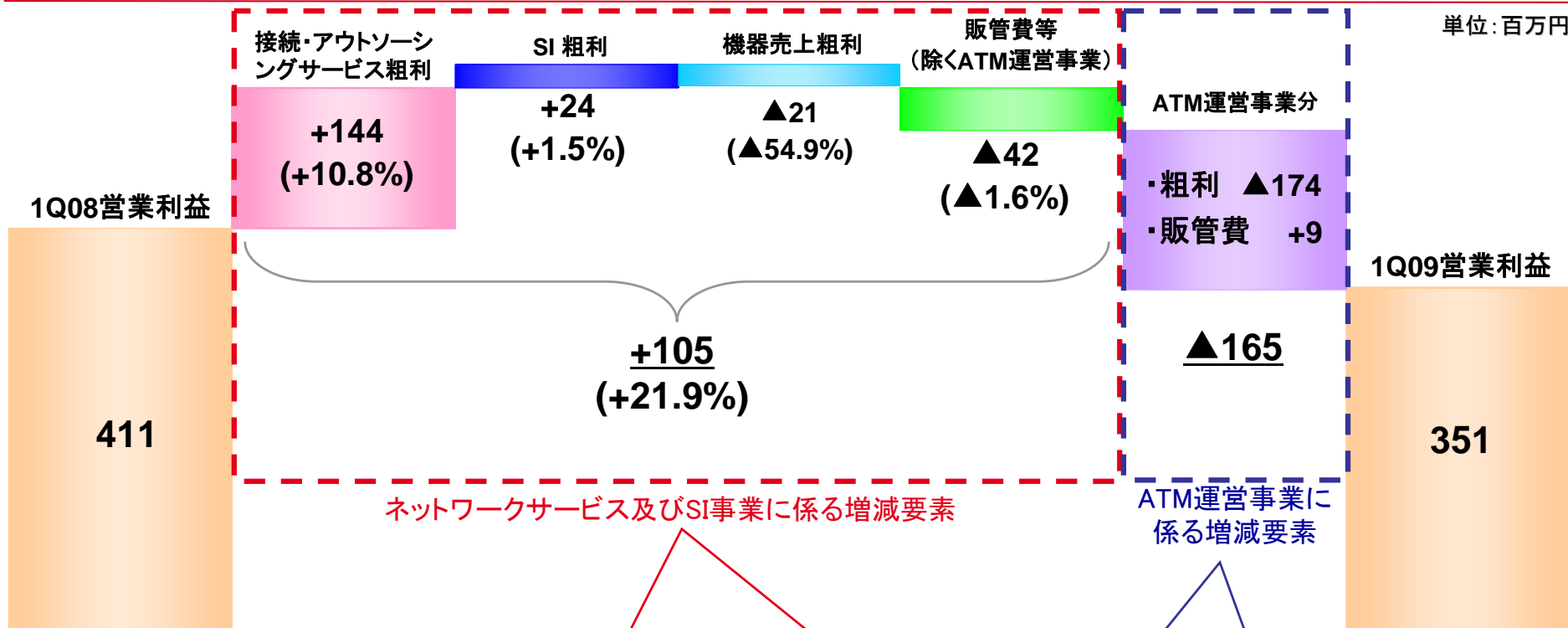
<営業利益及び営業利益率の推移>



- ◆ ネットワークサービス及びSI事業 (ATM運営事業を除く既存事業) を切り出した利益水準の推移
- ◆ 例年1QはSI季節変動による売上規模減少、新卒増加等のコスト水準増加により4Q比利益率は低下
- ◆ ネットワークサービス及びSI事業の1Q09売上はSI構築減により1Q08比減少したものの、粗利は1Q08比4.8%増加、粗利率は1.5ポイント向上
- ◆ 営業利益は1Q08比21.9%増加、営業利益率は0.8ポイント向上
- ◆ うちトラストネットワークス以外の新設子会社3社に係る営業損失
 - ・ 1Q08 ▲80百万円
 - ・ 1Q09 ▲83百万円

Ⅱ-11. 営業利益増減要素 (YoY)

単位: 百万円



◆ 接続・アウトソーシングサービス粗利増加 :

売上継続増加が原価増加を吸収の上増加

◆ SI粗利増加 :

SI構築売上絶対額は景気影響により減少したものの、コストコントロールによる外注関連費用等の原価減少により若干増加

◆ 機器売上粗利減少 :

売上絶対額の減少に伴い減少

◆ 販売管理費増加 :

コストコントロールによる共通的费用の全般的な低減があったが、人件関連費用の増加、のれん(顧客関係)の除却費等により増加

◆ ATM運営事業粗利 :

1Q09 ▲184百万円、1Q08 ▲10百万円
引き続き事業立ち上げ時の損失増加

◆ ATM運営事業に係る販管費 :

1Q09 49百万円、1Q08 58百万円

Ⅱ-12. 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位:百万円

	2009年6月末	2009年3月末	前期末比
現金及び現金同等物	9,897	10,188	△ 290
売掛金	8,532	10,257	△ 1,724
たな卸資産	536	530	+6
前払費用	2,611	1,772	+839
繰延税金資産(流動)	586	762	△ 177
その他投資	2,125	1,915	+211
有形固定資産	13,109	13,173	△ 64
のれん及び その他無形固定資産	5,701	5,841	△ 140
繰延税金資産(固定)	2,254	2,253	+0
銀行借入(短期)	7,150	7,350	△ 200
欠損金	△ 18,571	△ 18,549	△ 22
その他包括利益累計額	△ 82	△ 321	+239
当社株主に帰属する 株主資本合計	25,296	25,169	+127
総資産	50,671	52,301	△ 1,630

▶ SI案件の減少により減少

▶ 賞与、SI売上に係る機器
保守料等により増加

▶ 上場株式等売却可能有価
証券 900百万円

▶ 非上場株式 861百万円

▶ 出資金等 364百万円

▶ 非償却無形固定資産残高
5,418百万円

▶ 償却対象無形固定資産残高
274百万円

▶ 短期借入金の返済により
減少

▶ 当社株主に帰属する
株主資本比率 49.9%

Ⅱ-13. 連結キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

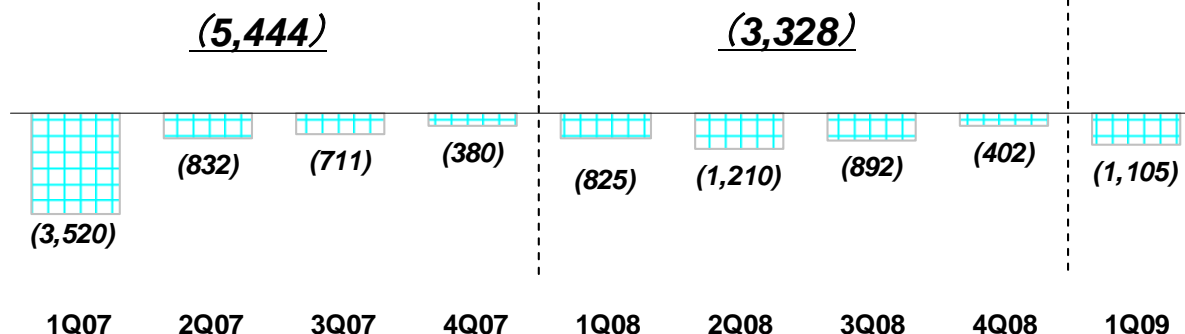
営業キャッシュ・フロー



営業CF 2,164百万円の収入

- ▶ 売掛金の減少 1,735百万円
 - ▶ たな卸資産・前払費用等の減少 501百万円
 - ▶ SI案件仕入れ等の減少に伴う買掛金及び未払金の減少 937百万円
 - ▶ 法人所得税の支払い 208百万円
- 等

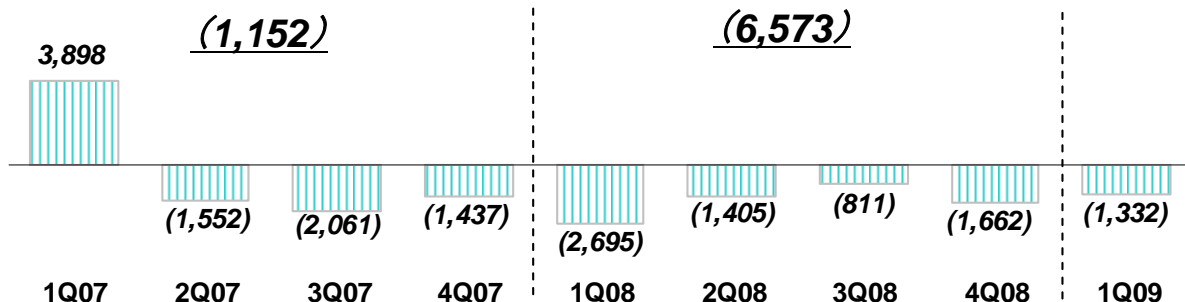
投資キャッシュ・フロー



投資CF 1,105百万円の支出

- ▶ 有形固定資産の取得による支出 1,094百万円
- 等

財務キャッシュ・フロー



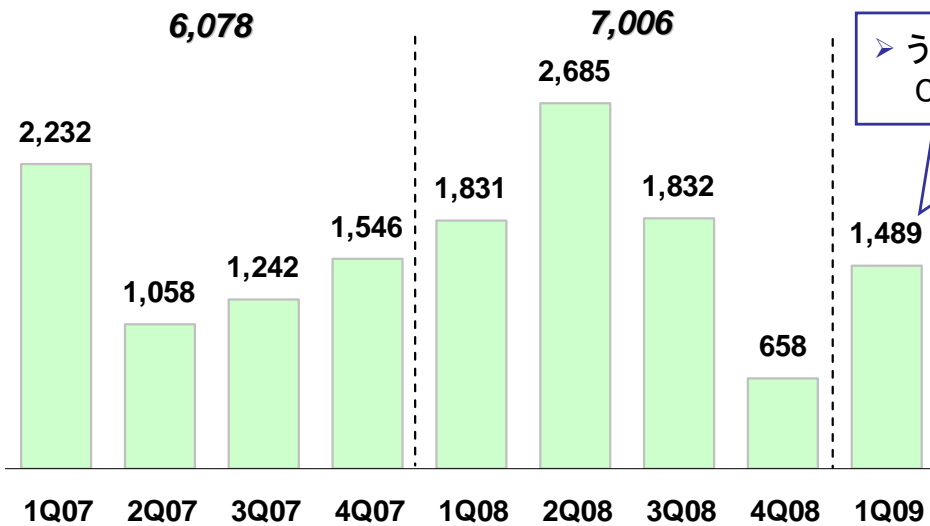
財務CF 1,332百万円の支出

- ▶ キャピタルリース債務の元本返済 930百万円
 - ▶ 短期借入金の返済(純額)
 - ・3ヶ月以内:200百万円
 - ▶ 配当金支払 203百万円
- 等

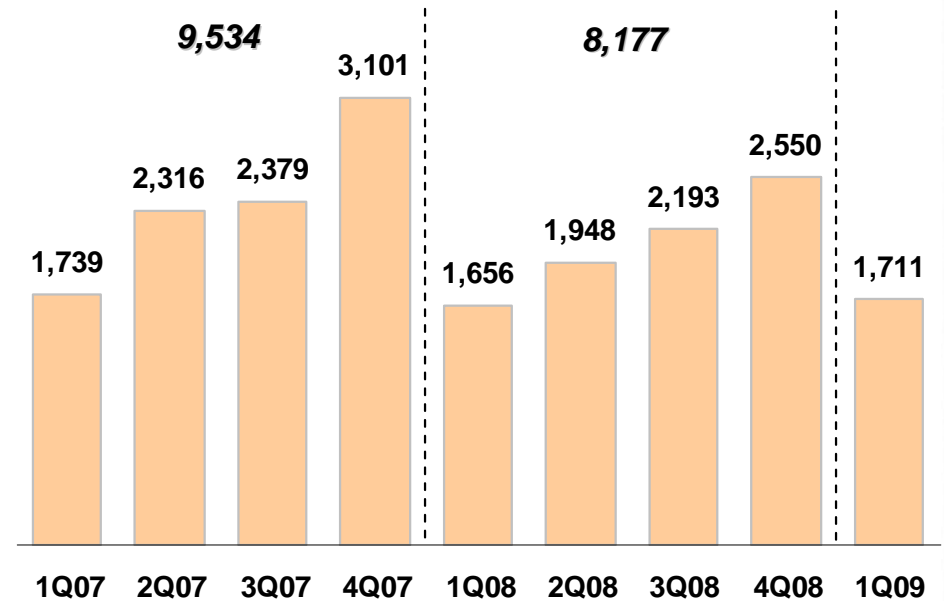
Ⅱ-14. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX (設備投資額、キャピタルリースを含む)

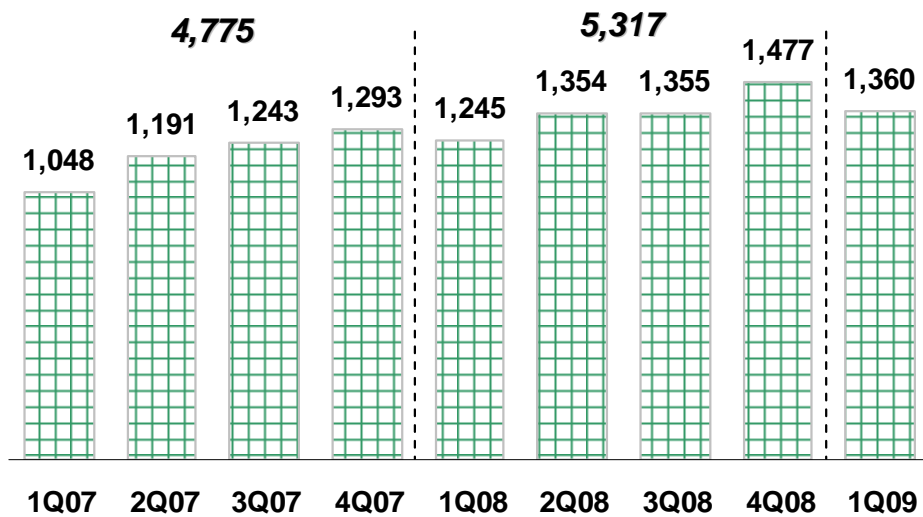
単位: 百万円



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)



減価償却



Ⅱ-15. トピックス

◆ コンテンツ配信サービスの展開

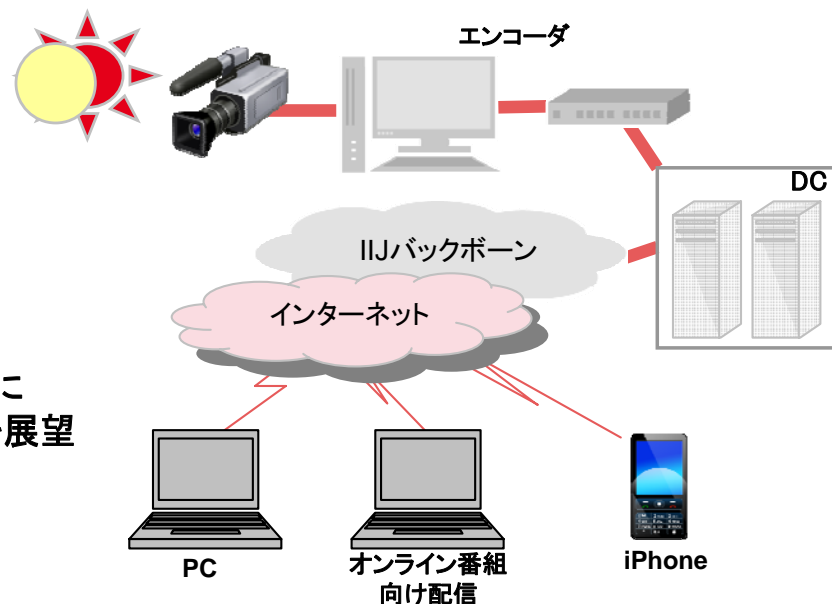
▶ 皆既日食中継向けに最新技術を使った大規模配信を提供 番組内映像配信にてピーク時は同時数十万接続に対応

- ・ 2009/7/22、46年ぶりに日本国内で観測できる皆既日食中継プロジェクトに対し、高画質映像配信プラットフォームを提供。
- ・ Flash[®] Videoに加え最新技術であるMicrosoft[®] Silverlight[™] にも配信。世界に先駆けiPhone向け大規模配信を実施。
- ・ 最新技術と過去最大規模の同時接続運用によるノウハウ蓄積。

▶ IIJの持つ運用ノウハウや配信技術、国内最大規模のバックボーンに直結した配信プラットフォームを活かし、更なるサービス提供拡大を展望

- ・ ブロードバンド普及に伴い、益々動画や音楽等のリッチコンテンツ配信ニーズは拡大。あらゆる配信方式やニーズに対応したサービス開発を展開。
- ・ 動画等大容量データの分散ストレージ化等、クラウドコンピューティング技術を採用したサービス開発に着手。

皆既日食中継イメージ図



◆ 中小企業向けサービスを開始

▶ 7月末より「LaIT レンタルサーバ」「LaIT プライベートイーサ」を提供開始、 今後、ブロードバンド接続やモバイルインターネット接続等のサービスラインアップを拡充

- ・ 「LaIT」では、これまでIIJが官公庁や金融機関を始めとした大手法人のお客様にご提供してきたサービスの品質を維持しながら、中小規模の法人のお客様に適したサービスを安価な料金でご提供。
 - ・ 「LaIT レンタルサーバ」: メール・Web・ウィルス対策・迷惑メール対策等のホスティングサービスに求められる機能を網羅した共有レンタルサーバサービス。携帯電話向けコンテンツ変換機能搭載。
 - ・ 「LaIT プライベートイーサ」: IIJの独自開発ルータ「SEIL/X」と独自技術「SMFv2」を活用しネットワーク接続設定を自動化したプロトコルフリーのネットワーク構築サービス。

サービスオンデマンドによる柔軟なソリューション

SMF v2
SMB Management Framework Version 2



独自開発ルータ
「SEIL/X」

Ⅲ-1. ご参考：2010年3月期連結業績見通し

単位：百万円

	2Q09累計(予) (09/4~09/9)	FY09(予) (09/4~10/3)	FY08実績 (08/4~09/3)	前年度比	
				増減額	増減率
営業収益 (売上高)	33,500	73,000	69,731	3,269	4.7%
営業利益	800	3,300	2,917	383	13.1%
税引前 当期利益	550	2,700	2,034	666	32.7%
当社株主に帰属 する当期純利益	300	1,700	1,419	281	19.8%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	1,481円	8,393円	6,918円	1,475円	21.3%
一株当たり 配当金	1,000円 (中間)	2,000円 (年間)	2,000円 (年間)	0円	0.0%

- ◆ インターネット接続及びアウトソーシング売上は引き続き伸張と想定
- ◆ SI構築は景気悪化の影響を鑑みFY08比約20億円強の売上減少を想定、SI運用保守は増収を見込むが構築売上減少に伴い増収率低下と想定
- ◆ 新設子会社に係る営業損失は、通期にて10億円前後と想定
- ◆ 1Q09は新設子会社による営業損失影響により、前年同Q比営業減益との見通し

Ⅲ-2. ご参考:グループ会社一覧

(2009年7月末現在)

	社名	出資比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)アイアイジェイテクノロジー	100%	システムの設計、開発、構築及び運用保守等
	 (株)アイアイジェイ フィナンシャル システムズ		金融機関向けシステムの開発、運用保守等
	 (株)ネットケア		ネットワークシステムの運用監視、カスタマー サポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、 インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	 オンデマンドソリューションズ(株)		プリントオンデマンドサービスの提供等
	 (株)IJイノベーション インスティテュート		インターネット技術開発および インキュベーション事業等
	 (株)トラストネットワークス		72.3%
	 GDX Japan(株)	60.2%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等
持分法 適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	31%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 TAIHEI COMPUTER タイヘイコンピュータ(株)	45%	ポイント管理システムの提供等

Ⅲ-3. ご参考:1Q09 主要プレスリリース一覧

期	日付	項目	
FY09	1Q	4/9 IIJとスキルアップジャパン、国内初の著作権保護機能を実装したFlash Videoストリーミング配信の実証実験を開始	
		4/17 IIJ、高機能ルータ「SEIL」シリーズに新たにURLフィルタリング機能を追加	
		4/27 IIJ、IPv6接続機能を無償で提供する「IPv6仮想アクセス」を開始	
		5/15 平成21年3月期 通期決算発表	
		5/20 IIJ、「IIJモバイル」の料金プランと独自開発データ通信端末を拡充	
		5/22 「平成21年3月期 決算短信(米国会計基準)」の一部訂正	
		5/26 定款一部変更に関するお知らせ	
		5/26 役員体制について	
		6/1 IIJ、ノートPCの情報漏えいを防ぐ「IIJ PC盗難・紛失対策ソリューション」を開始	
		6/3 IIJ-Tech、統合メールセキュリティソリューション「iiMail Suite(イーメール スイート)」の提供を開始	
		6/9 GDX、企業向けファイル転送サービス「GDX Drop Box」の機能を拡充	
		2Q	7/1 IIJグループ、R&D体制を強化
			7/1 IIJ、中小企業向け新ブランド「LaIT(ライト)」を開始
			7/8 IIJ、国内初となる「Live Smooth Streaming」技術とSilverlightを利用した高画質ライブ映像を配信
7/9 IIJ、アット東京のデータセンターでインターネット接続サービスを提供開始			
7/14 IIJ、日食中継プロジェクトに高画質の映像配信プラットフォームを提供			

※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券及び営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部 IR室)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: ir@ij.ad.jp

